

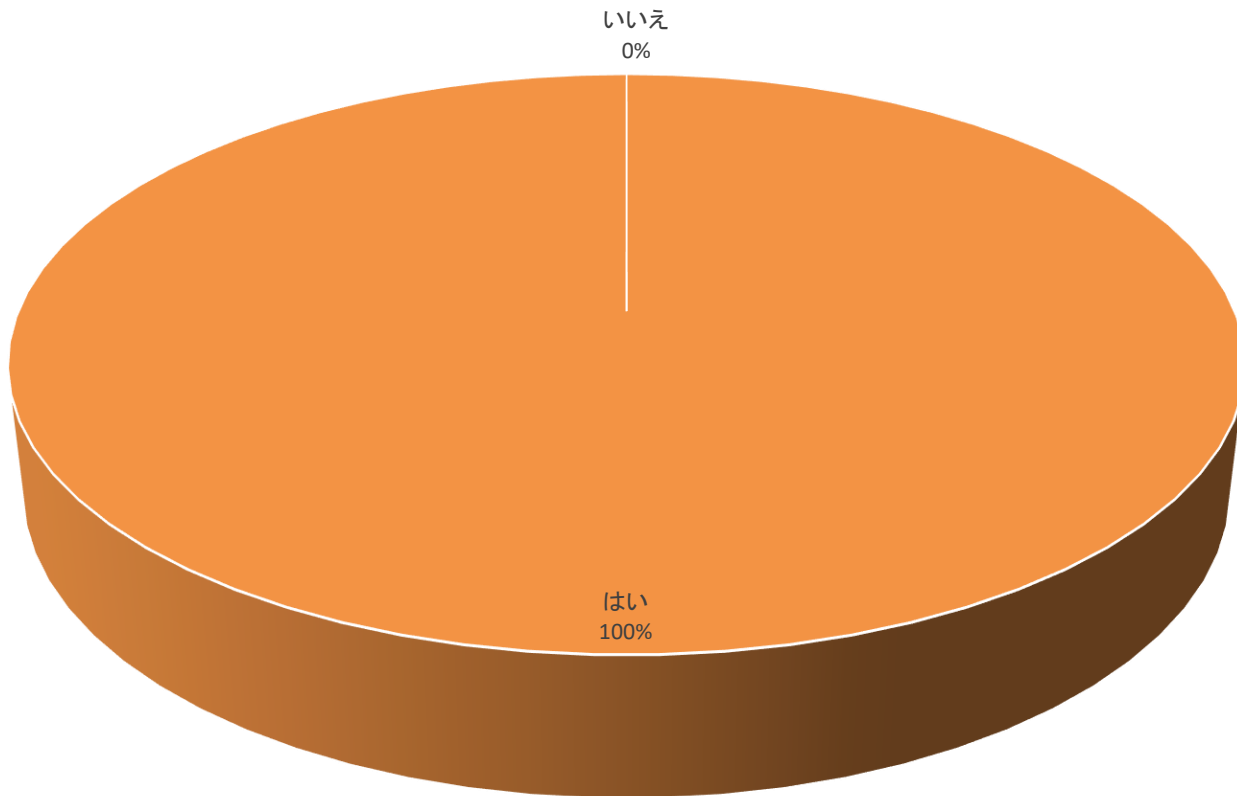
児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 12月 1日

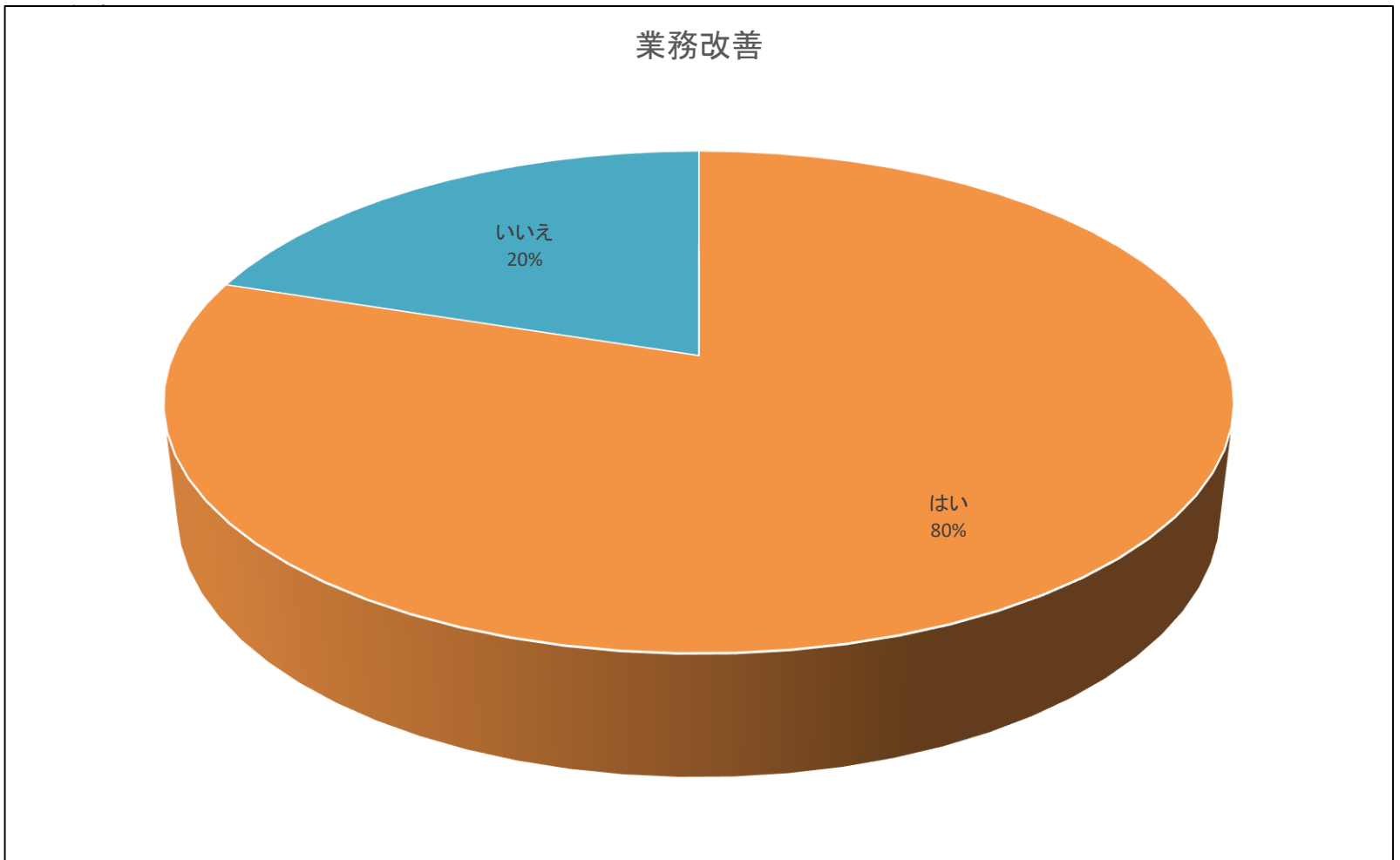
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		当日の利用人数に合わせ、同法人の交流スペースや他部屋を利用する等し、計算しています。	過ごし方について、ご家族の不安がないよう事前にお話しさせていただきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		安全の確保を図るために基準以上の人員を配慮しています。	今後も同様の体制で行っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			改善を図った部分をおたより等にも明記し、ご家族にも周知していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		サービス開始前と終了後、毎日部屋の清掃や玩具の消毒を行っている。	今後も同様の体制で取り組みながら、改善できるところは改善していきます。

環境・体制整備

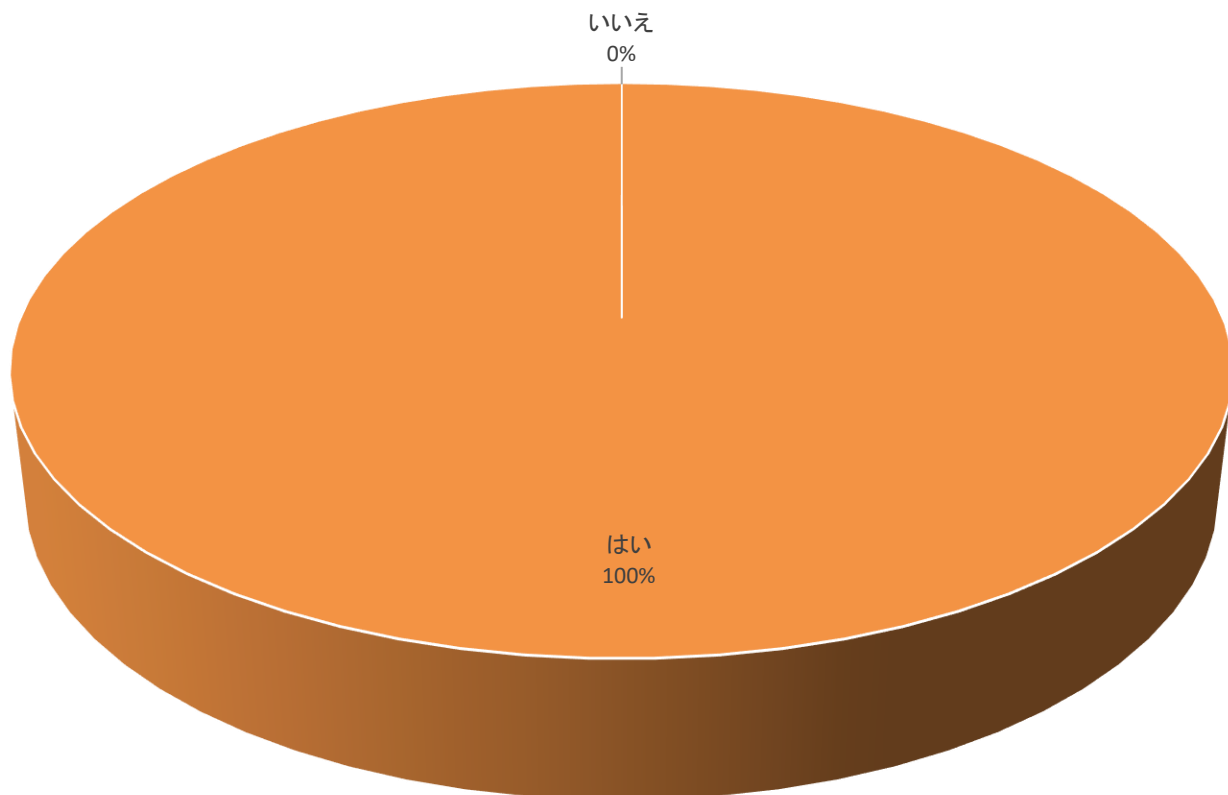


		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		利用者支援については、振り返りシートを使い改善に取り組んでいる。また、職員個人に対しても目標設定をし、評価を行うシステムを確立している。	PDCAサイクルにより、業務改善を図り、サービスの質の担保を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いた意向を明確にし、改善を図っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っていないが、透明性を図るため、地域の会議で取り組み内容を公表しています。	第三者評価については、今後行うかどうか検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修については、年間計画を立て、職員みんなが参加できるように計画しています。	月に1回の内部研修と、年間にわたる外部研修の計画を作成し今後も同様な体制で取り組みます。



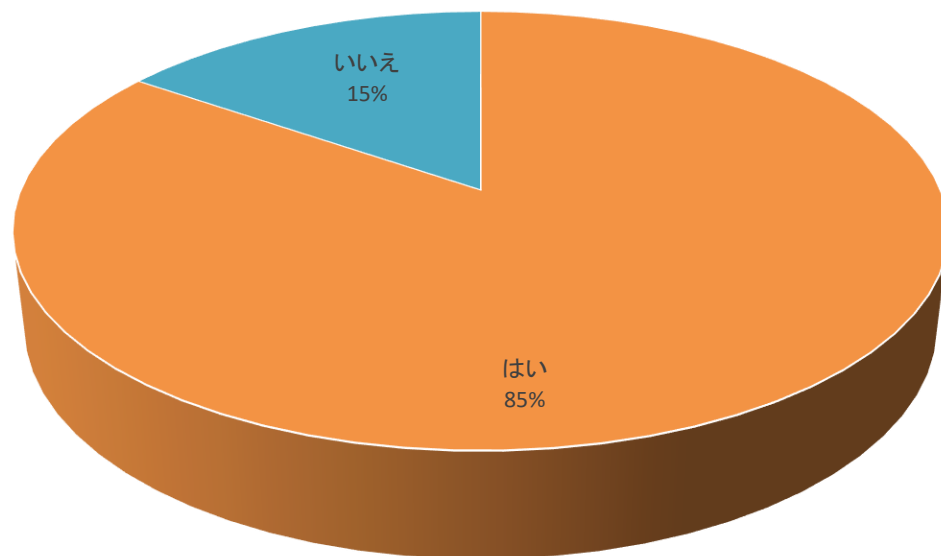
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		子どもと保護者のニーズを細やかに聞き取ると同時に関係機関の意見も参考にし計画を作成している。	サービス担当者会議や、個別の聞き取りでアセスメントを行い、職員間で共有し、適切な支援について検討しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		利用開始時のアセスメントを施設の様式にて行い、定期的なアセスメント(振り返りシート)も同時に行っている。	施設のアセスメント様式について、より保護者の意向をくみ取りやすくするものに適宜更新していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			特性に応じ、こどもの支援に必要な項目について充足されているか、確認していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			適宜、確認や評価を行いながら支援していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムについて前月に予定を立てて計画的に実施している。	活動プログラムについては、関係機関のみでなく、その都度保護者にも確認し、慎重に検討していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			評価の際に、プログラムについての見直しを行っていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		サービス導入前や計画書の更新時に関係者や保護者の意見をお聞きし、計画を立てています。	ひとり一人の課題と、利用日に応じ一般的な視点で計画していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			今後も同様に行っていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了毎に、当日の気づき等の振り返りを行い、共有を図っている。	気付いた部分を、支援に確実に生かせるような取り組みを考えていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケア記録に日々の支援を記録し、振り返りシートを用いて検証および改善方法の検討を行っている。	記録の取り方についての勉強会も、適宜行っていきます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングの結果を、計画書に反映していけるように、職員のスーパーバイズまたは研修の確保に努めます。	

適切な支援の提供



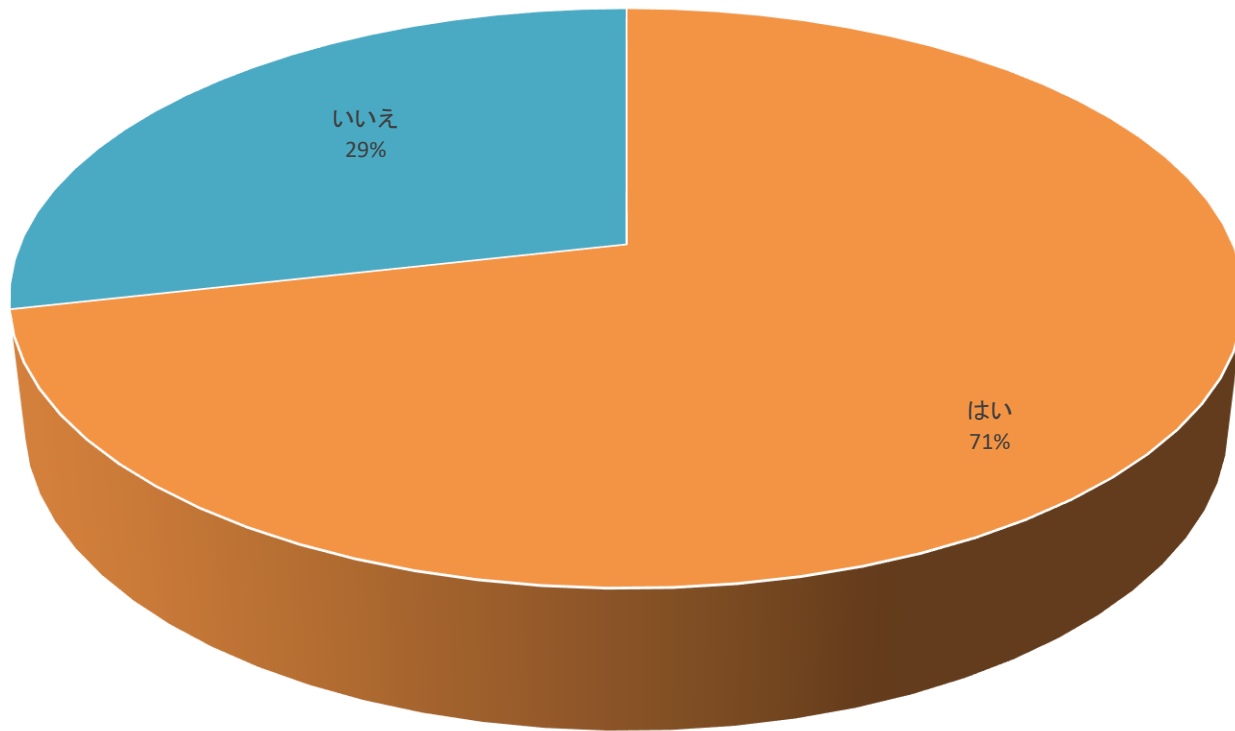
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		利用児に対し、担当の職員を配置し、児発管と一緒に会議等に参加している。	今後も同様な体制で行っていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		利用開始時に担当の保健師との情報共有を行っている。	適宜、こちらからの情報提供を行っていきけるようにしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時には行っている。	福祉、医療のみでなく、教育機関まで利用児の生活の全般的な支援を行えるよう体制を充実させていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要時は医療機関と訪問看護、保健師等の関係者間での連絡体制を整えています。	今後も同様に行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行時に、訪問や会議を行い情報の共有を図っている。	関係機関との関係構築を図り、マニュアル化できるよう努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行時に、訪問や会議を行い情報の共有を図っている。	関係機関との関係構築を図り、マニュアル化できるよう努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他機関と連携しての研修は行っていない。	地域の機関と連携し研修会を行っていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍のため、自粛していた。	時期を見て交流の機会を作ります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	施設の管理者が参加している。	必要時に、適切な職員の参加を考えていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に、状況を報告したり相談を受けたりしている。	より相談しやすい環境を整えていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		職員が研修を受け、体制を整えている。	ペアレントトレーニングを実施できるような職員育成に努めます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に口頭と書面で説明を行っている。	分かりやすい説明を心がけます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		口頭と書面にて説明を行っている。	分かりやすい説明を心がけます。

関係機関や保護者との連携



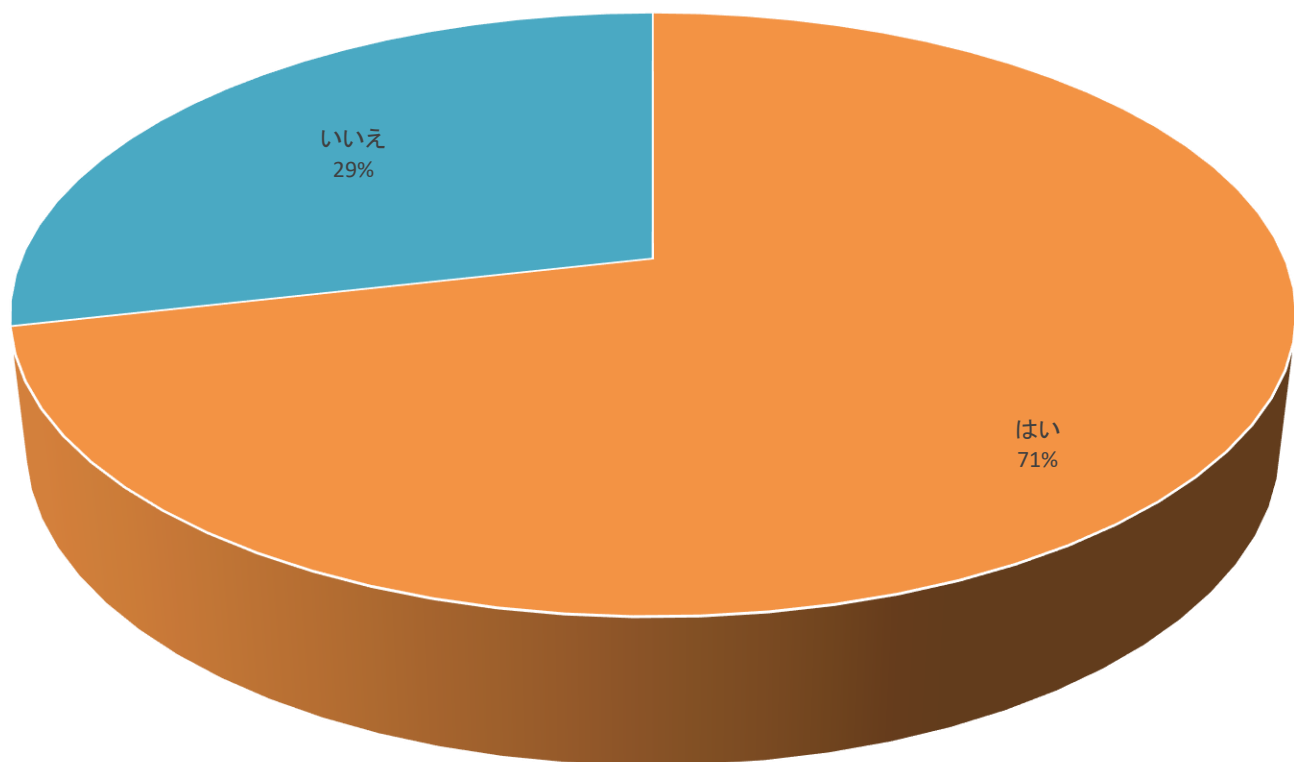
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時等に、保護者に声をかけ話しやすい雰囲気而努力している。	悩みを発するのが苦手な保護者に対しても、悩みを聞き取れるよう信頼関係を築いていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍で叶わない部分もあったが、時期を見て開催していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談や申し入れがあった場合にできる限り、迅速に対応できるようにしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、行事予定のおたよりを配布している。	おたよりについて、適宜見直しをし内容の充実を図っていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員に周知徹底している。	適宜、注意喚起していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			一人一人の特性や正確に合わせ、必要時はツール等を使用していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍のため叶わなかったが、時期を見て行事等が開催できるよう計画を立てています。

関係機関や保護者との連携



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41		○		適宜マニュアルの見直しを図り、周知していきます。
	42	○		毎月1回訓練を行っている。	保護者に対しても、緊急時の対策について、周知していきます。
	43	○		利用開始時の確認と、受診状況の確認を行っている。	状況を確認できるツールを作成し、分りやすくしていきます。
	44	○			該当児童がいる際には、行っていきます。
	45	○			今後、委員会で作成していけるよう計画していきます。
	46	○		内部研修と外部研修への参加を確保している。	職員全員が順次参加できるようにしていく。
	47		○		今後、委員会の開催や規程の作成を行う予定。

非常時等の対応

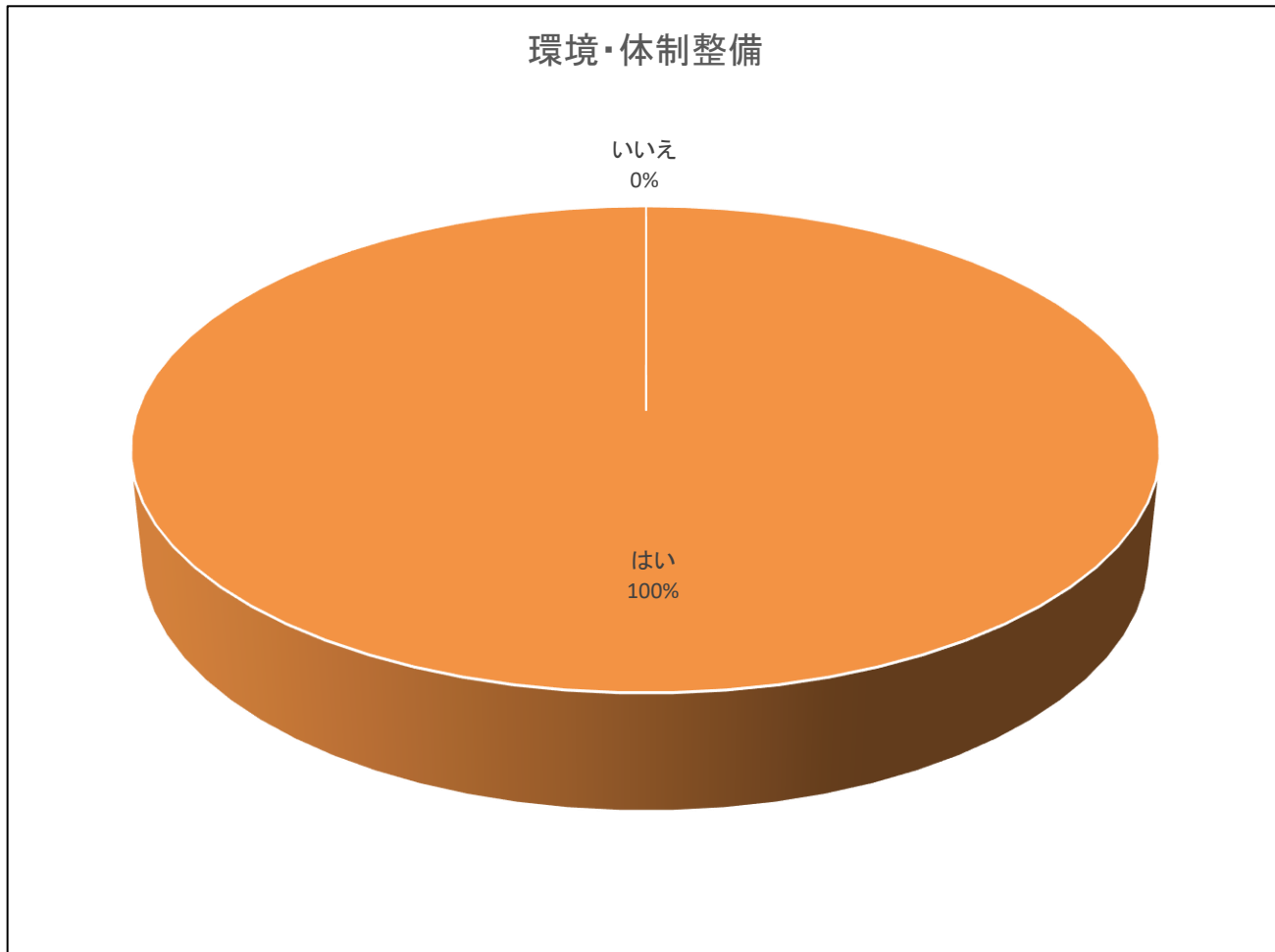


保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

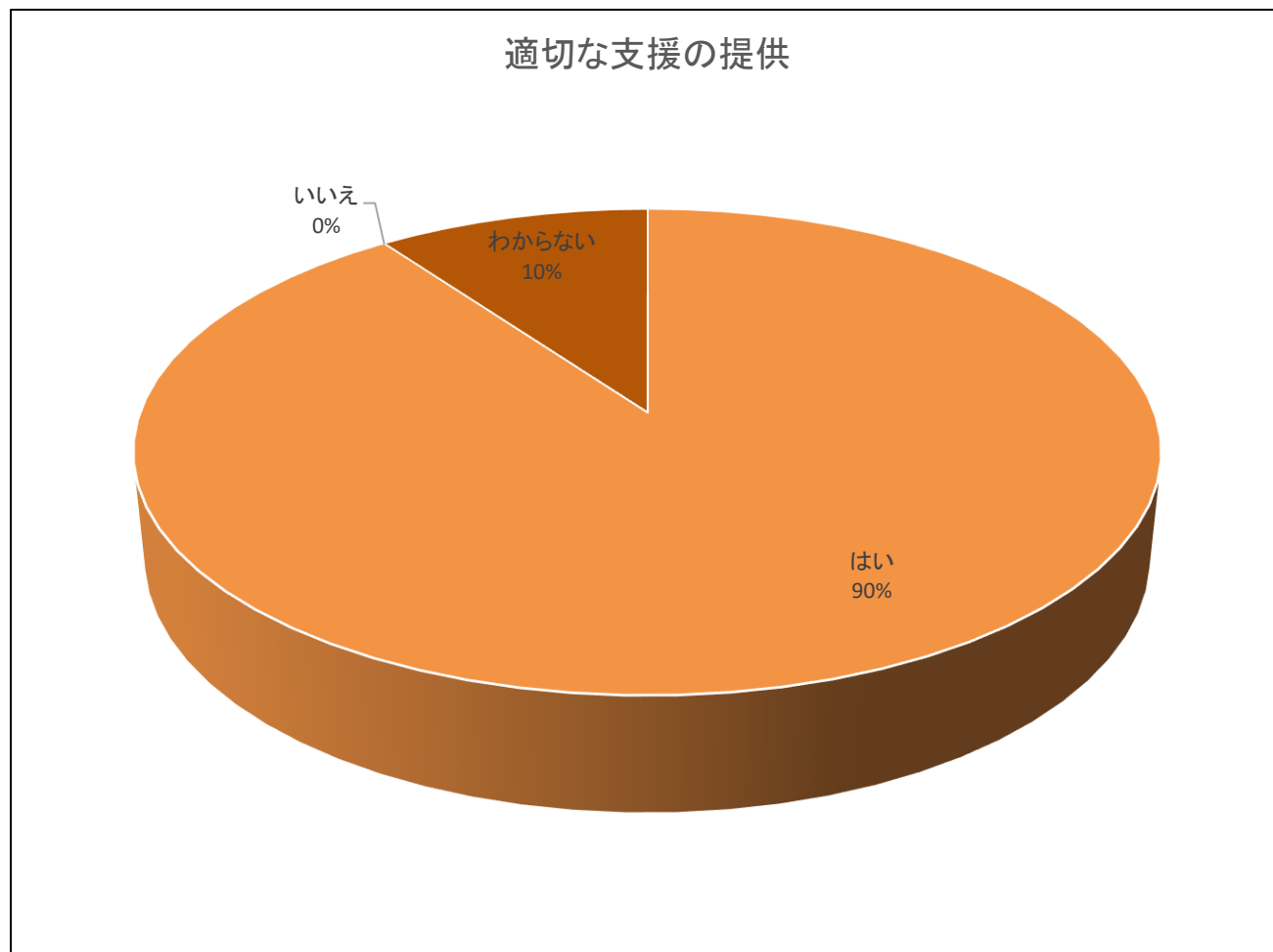
公表:令和 3年 12月 1日

事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑 保護者等数(児童数) 回収数 2 割合 100 %

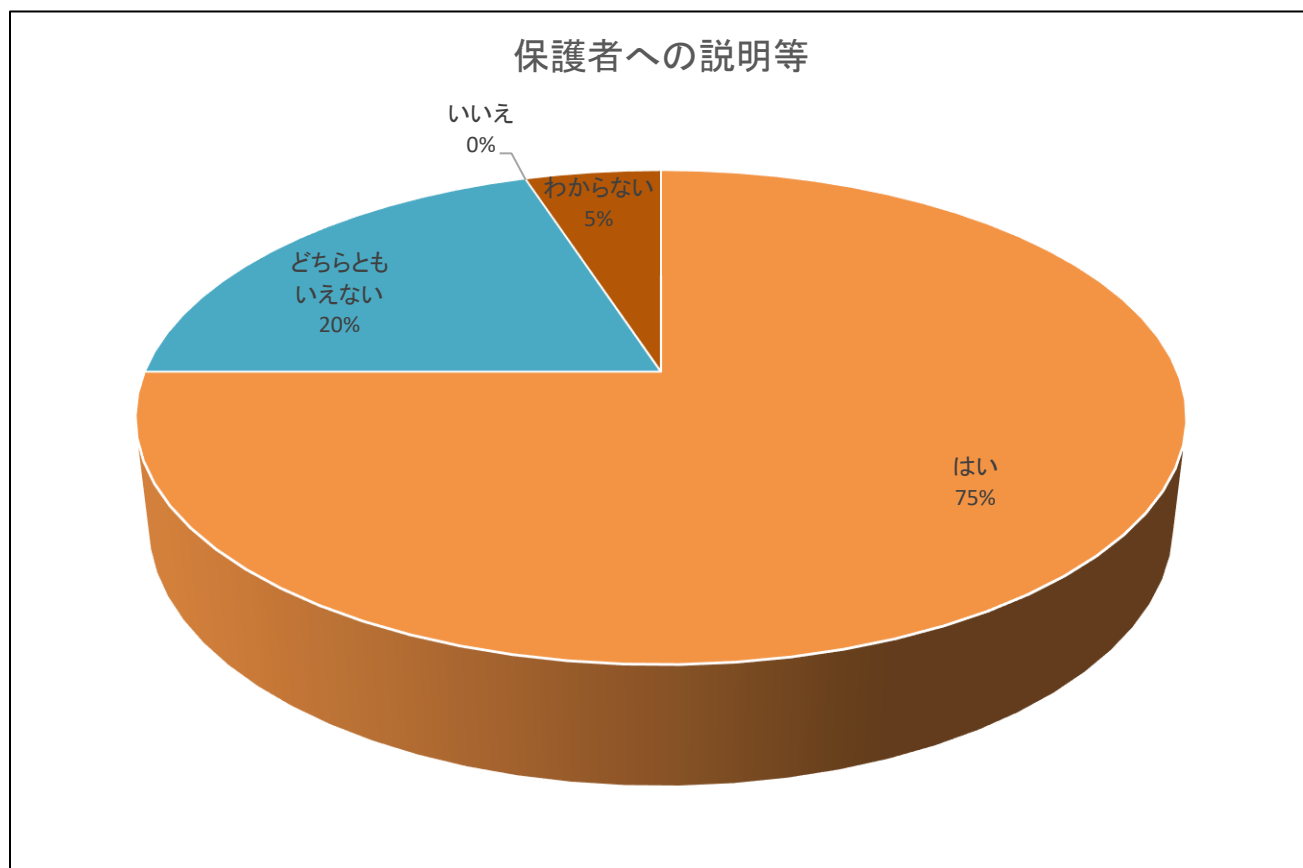
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					外出の機会を持ったり、施設内の他の部屋や同法人の他施設を利用して対応しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2					職員の配置は人員基準以上としています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2					多機能型施設のため、必要時他部屋の利用を行い、構造化を図っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					毎日清掃・消毒を行い、必要時に改善を図っている。
	合計			8	0	0	0	



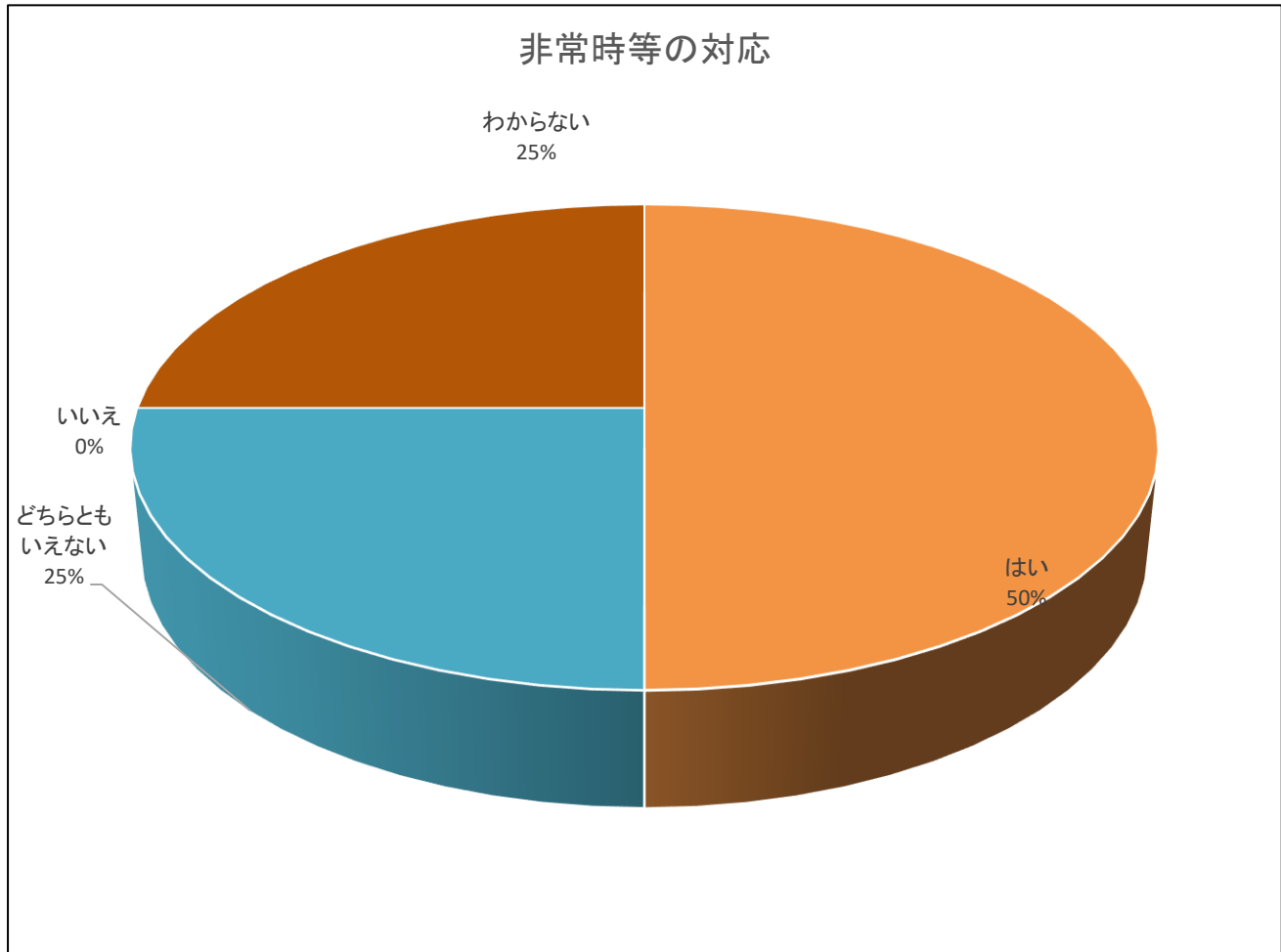
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	2					ニーズの収集について、偏りがでないような工夫を考えていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					ひとり一人の特性や必要性に合わせ、設定しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					行っている。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	2					適宜評価し、保護者の意向も確認しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			1	・コロナが心配される今は、その活動自体が難しいと思ったため	コロナ禍のため自粛しておりましたが、時期を見て市と連携しながら、交流の機会に努めます。
合計			9	0	0	1		



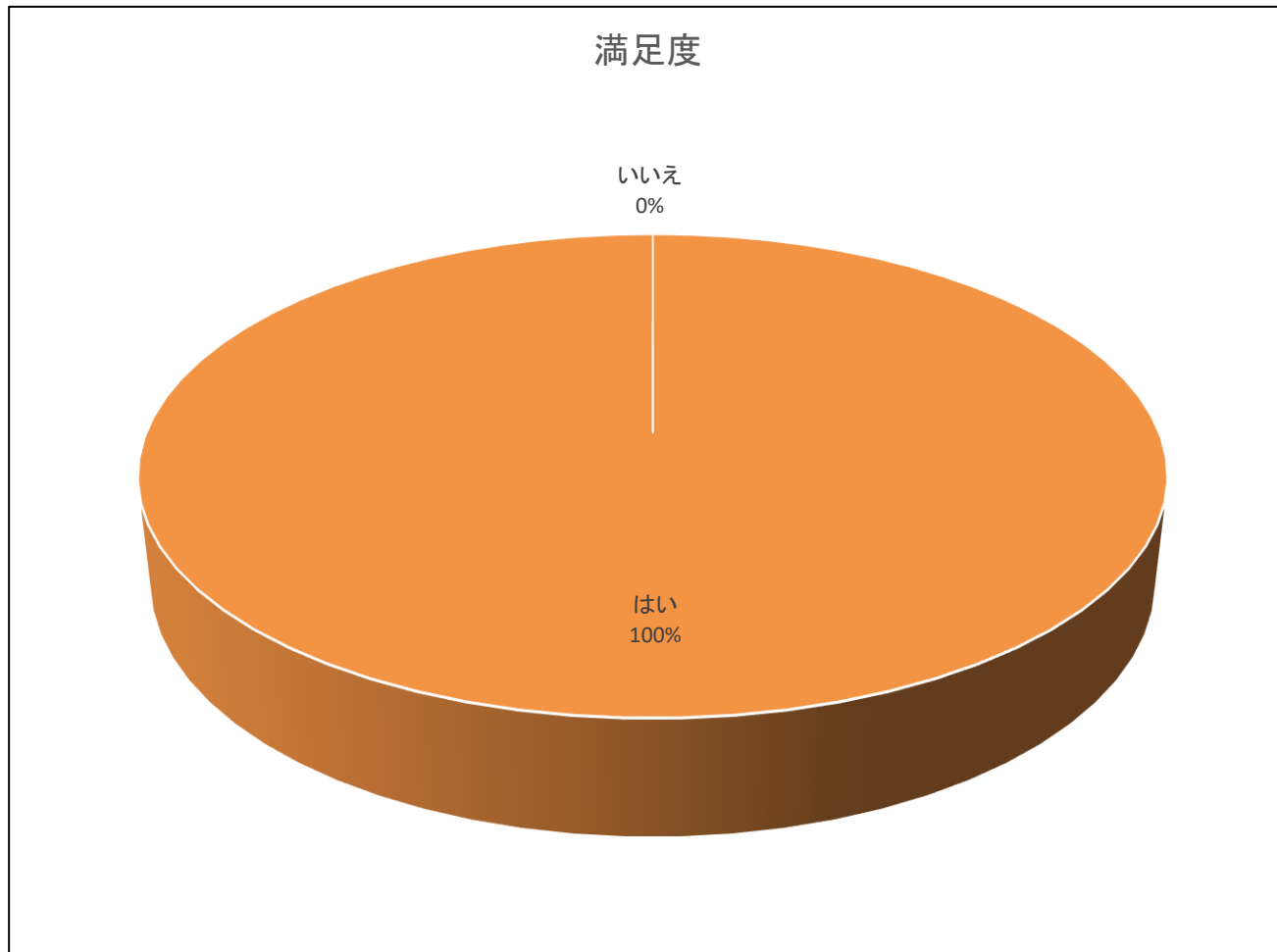
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					分かりやすい説明を心掛けます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2					口頭と書面により説明しています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか		2				職員の育成をはかり、研修会の開催等を行えるよう計画していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					送迎時や連絡帳でお伝えしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					相談機能を充実させていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1		1	・希望している時間帯が、現在一人のため分らない。	保護者同士の連携を持てるようこまめな配布物等の利用も検討し、施設内の透明化を図ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1				保護者が要望を伝えやすい体制を整え、内容についても周知し、透明性を図ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					確実に確認し、様子をお伝えできるよう努めます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2					ホームページやSNSで発信しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2					個人情報の保護について適宜注意喚起しており、徹底しています。
合計			15	4	0	1		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1			1		適宜マニュアルの見直しを図り、周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1				毎月1回訓練を行っています。
	合計		2	1	0	1		



		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2					通所を楽しみに出来るよう常時改善していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	2					ご要望があれば、受けられるようにしていきます。
	合計		4	0	0	0		



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。